

出張所の窓辺から



淀川管内に7つある、国土交通省淀川河川事務所の出張所から職員が管内のみどころを紹介します。今回の担当は福島出張所です。

今回は、福島出張所管内に生息しているジャコウアゲハの話をしたと思います。みなさんは、ジャコウアゲハってご存知ですか？

黒いアゲハチョウの一種で、オスの成虫が発する匂いが、鹿の麝香(じゃこう)に似ているのが名前の由来となっています。黒いアゲハチョウには色々な種類があり、そのほとんどは身体が黒一色ですが、ジャコウアゲハは身体に赤やオレンジの模様があるのが特徴となっています。卵から幼虫、サナギを経て、チョウとなるのを年に2〜3回繰り返すと言われています。



福島出張所管内では、十三付近の堤防で、春から秋にかけてジャコウアゲハが飛んでいるのを見ることができます。

このジャコウアゲハの幼虫は、ウマノスズクサという特定の植物しか食べません。以前は道路や公園でもよく見られた普通の植物でしたが、現在ではその数を減らし、あまり見ることができなくなりました。淀川の堤防でも、限られた範囲の中でほぼそと生育しています。そのため、ウマノスズクサが生息している範囲の堤防除草を行う際は、ジャコウアゲハの幼虫がウマノスズクサを食べ

ている時期を外して草刈りをしています。

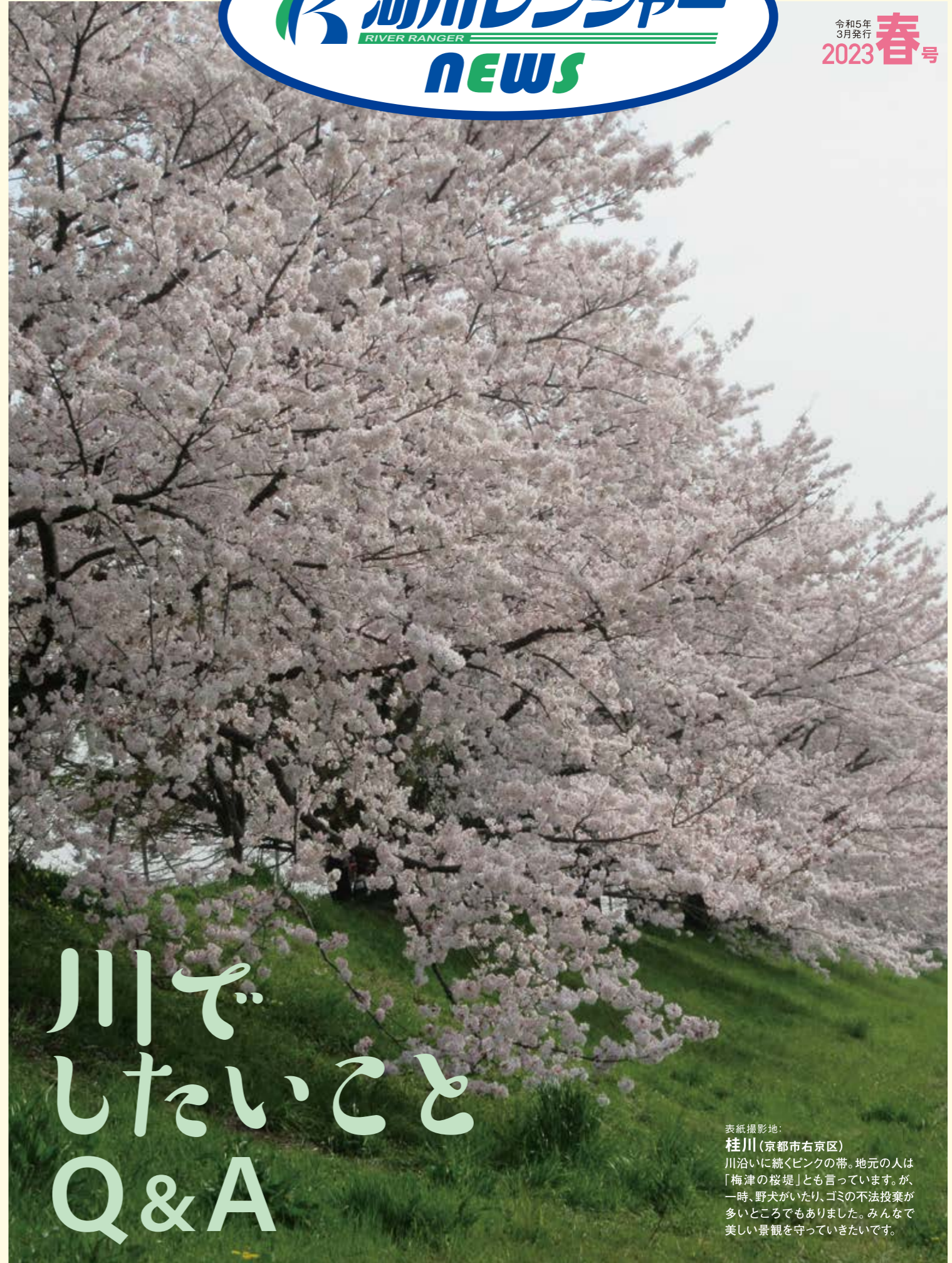
また、ウマノスズクサの生育している箇所で行う際は、ウマノスズクサを移植するなど、ジャコウアゲハに配慮した取り組みを行っています。

ウマノスズクサには毒性があり、それを食べたジャコウアゲハに蓄積されるようです。そのため、鳥などに捕食されることも少ないようで、大きな羽を広げて優雅にゆっくり舞っているジャコウアゲハを見ることができます。みなさんもジャコウアゲハを見かけたら、そっと観察してあげてくださいね。



▲ウマノスズクサ移植前の養生
▼ウマノスズクサ

ジャコウアゲハ成虫



川で したいこと Q&A

表紙撮影地：
桂川(京都市右京区)
川沿いに続くピンクの帯。地元の人には「梅津の桜堤」とも言っています。が、一時、野犬がいたり、ゴミの不法投棄が多いところでもありました。みんなで美しい景観を守っていきたくです。

カワセミ

[Kawasemi]

いきもの
イチオシ!!
第33回

桂川出張所管内
河川レンジャー
南良靖雄

カワセミは、桂川の水辺でよく見る美しい小鳥です。鮮やかな水色とオレンジ色の体色から「水辺の宝石」と呼ばれています。三川合流域から久世橋、上野橋、松尾橋、渡月橋周辺と、河川レンジャーの活動エリアのほぼ全域で観察できます。

カワセミはブッポウソウ目カワセミ科カワセミ属の鳥です。スズメと同じくらいの大きさで、長く大きいくちばし特徴です。アンバランスな体型ですが、水面すれすれにかなりの

速さで飛ぶので飛んでいるところを写真に撮ることは難しいです。雌雄の見分け方は易しく、くちばしの下側が黒いのがオス、オレンジ色がメス。また、足の色が赤いのが成鳥、黒ずんでいるのが幼鳥です。

観察場所は、ワンドや緩い流れのある水域です。そばに魚の集まる餌場もあります。木の枝や石の上から水を恐れずに水中に飛び込み、魚やエビを捕まえます。巣作りは、垂直な土手や崖に穴を掘ります。春には、ヒナが生まれ、親鳥の

エサ捕り行動が増えます。全国的に巣作りの出来る場所が減っているといわれています。また、水質悪化で餌となる魚や水生昆虫が減って姿を消した時代がありました。が、近年、水質改善などで再び目にすることが増えてきました。河川の環境保全のシンボリック存在のカワセミを見守っていききたいものです。

国土交通省のサイト「川の防災情報」では、全国の河川の雨量・水位情報をチェックできます。川遊び中にお天気の変化が気になったときには、ぜひご利用ください。

<https://www.river.go.jp>

河川レンジャーは淀川流域を舞台に行政と流域住民をつなぐ橋渡し役を担っています。詳しくはホームページをご覧ください。

発行責任者：淀川管内河川レンジャー事務局
〒573-0056 大阪府枚方市桜町3-32 TEL:072-861-6801(平日9時~17時)

次号は7月発行予定です!

公式LINE 始めました

淀川管内河川レンジャー <https://www.river-ranger.jp>

※本誌掲載記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。

川で したいこと



Q&A

今号では、今までの特集アンケートの中で寄せられた「川でしていいかどうか知りたいこと」の質問を取り上げます。レンジャーが調べてみました。

多かった質問
第2位 QUESTION
BBQのゴミ処理

Q3. BBQは、ゴミの処理(持ち帰り)等を徹底すればOKか?

A. 他の河川利用者や沿川住民の迷惑とならないようにゴミの持ち帰りの徹底等、ルールを守ってご利用ください。なお、淀川河川公園では、BBQ指定区域内で利用できます。



淀川河川公園のホームページで確認してね
公園でバーベキューをされる方へ
淀川河川公園
詳細はコチラ

多かった質問
第3位 QUESTION
川で魚釣りしたい

Q4. 魚つりは、どの川で、どのエリアでも可能ですか?

A. 魚つりは、自己責任で安全を確保したうえで、他の河川利用者や沿川住民の迷惑とならないかたちで可能です。なお、漁業権が設定されている区域では、漁業権設定者の許可が必要です。禁止されている区域もあります。(禁止区域の例)



漁業権に関しては、自治体などのホームページで問い合わせを確認してね

大阪府漁業権
京都府内水面漁業協同組合連合会
京都府遊漁規則一覧
詳細はコチラ

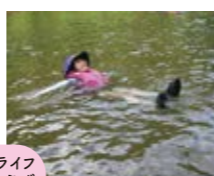


枚方出張所管内河川レンジャー
櫻井 えり子

多かった質問
第4位 QUESTION
川で泳ぎたい

Q5. 川で泳いでいいの? 泳いでもいいところはあるの?

A. かつては木津川に水泳場がありましたが、現在はありません。川は穏やかな流れのようにみえても、複雑な水流や川底になっています。河川での水泳には大きな危険があることを理解しましょう。



水辺で遊ぶ時は、ライフジャケットを着用し、必ず保護者の方が付き添ってくださいね。過去に水難事故のあった場所を調べることも大事ですよ。
水難事故マップ
詳細はコチラ

桂川出張所管内河川レンジャー
石津 知子

木津川出張所管内河川レンジャー
赤島 涼子

一番多かった質問
第1位 QUESTION
川でキャンプしたい



Q1. 河川公園でキャンプをしてもいいですか? テントを張って寝泊りをしてもいいの?

A. 淀川河川公園では、開園時間内に、タープや簡易テントなどを少人数で利用することは可能です。他の利用者へ配慮してマナーを守ってご利用ください。



風倒対策としてベグなどでしっかり固定してください。撤去後、地面に穴が残っている場合には必ず埋め戻しておいてください。

よくあるご質問
淀川河川公園
詳細はコチラ



Q2. 公園に指定されていない河川敷でのキャンプは?

A. 一般の河川敷では、他の河川利用者や沿川住民の迷惑とならないかたちであれば、特に届出や許可を受ける必要はありません。ただし、長期間のキャンプや、集団でいくつものテントを張る場合などは、自由使用の範囲を超える場合があります。注意や指導、禁止されることがあるので、河川管理者(淀川の場合、淀川河川事務所)へ相談してください。

ゴミの持ち帰りや焚火禁止などのマナーや環境への配慮は必要だね



River-Ranger | コラム ⑩
レンジャーが行く
枚方出張所管内河川レンジャー
道場 明子

淀川をゆっくり、ポタリング

「ポタリング」という言葉をご存知でしょうか。「ポタリング」は和製英語で、「ぶらつく」や、「目的もなくゆっくりうろつく」という意味があり、近場を散歩程度にゆっくりサイクリングする事として使われています。また、自転車で地域の歴史や背景等に触れながら走る事を「散走」というそうです。言葉はさておき、淀川は、サイクリングロードとして高低差がほぼなく初心者でも走りやすい上、他のサイクリングロードとつながっており、「走る事を目的にした」上級者にも多く利用されています。淀川は、「ポタリング」でも、「散走」でもとても楽しめます。「ポタリング」で、季節によって、風向きによって、体力と相談しながら、最初は目的なくうろついていても、発見がいっぱいあります。私も最初は堤防を越えるのが面倒で、なんでわざわざ自転車で…と思って、家族のつきそい程度で走っていましたが、走っているうちに「今日はここまで来た!」という達成感が生まれ、「次はここまで行ってみよう」となりました。また、走っていると、季節によって川の様子も違えば、植物の成長や、生き物、「あの入こで何してるんやろ?」「何してるんですか?」となり、新たな情報を教えていただく等と、様々な発見があります。各季節おススメは沢山ありますが、中でも、左岸の牧野周辺にある広大な砂地で敷物を広げて横になり、川と空を見ながらのんびり休憩すると最高です。昔の川筋や、川筋が変わる前にあった神社やお寺跡、渡し場を探る歴史「散走」も楽しんでいます。また、健康面でも自転車は、全身を使う酸素運動で、体の負担が少なく、生活習慣病の予防や、ダイエットの効果も期待しています。河川敷では多くの方が様々な目的で淀川を楽しんでいます。すべての利用者の妨げにならないように、お互いゆずりあって、マナーを守り、安全に淀川を楽しみたいですね。

「赤川」
廃寺跡

木津川は淀川管内の中でも自然が豊かで、本流付近でも魚とりができる貴重な環境です。木津川川ガキ団は、この川の各地をフィールドに、1年を通して生き物や川を学んでほしいと2011年からスタートしています。はじめに行うのは、ライフジャケットの着用体験です。「川流れ」などの遊びを通じて、正しい着用方法や浮く姿勢を覚えていきます。活動の大本命・魚とりはみんな真剣そのもの。子どもも保護者も立派な川ガキになります。同じ木津川でも環境によって違う種類の生き物がいることを知り、つかまえた魚を家で大切に飼育観察している人もいます。また木津川の豊富な砂と水で、砂州に自由に川をつくり、川の三作用(浸食・運搬・堆積)の実験や、そこに堤防やダムを作って決壊させてみたりもします。穴を掘ったら水がわいて本流の水位と同じ高さであること、伏流を知ったりすることができず。この活動コンテンツを「土木工事」と命名し、遊びの中から河川工学の世界に触れることも行っています。そして最終回では子どもたちをジュニア河川レンジャーに任命、川の未来の姿と一緒に考えます。川ガキたちは、木津川でのリアルな実体験を通じて、川を見つめ、木津川の素晴らしさを知り、子どもたちは「川は変化するもの」「生き物のいる楽しい場所」であると同時に「人間生活に直結している治水と利水の場でもある」ということを理解していきます。川で遊ぶことの大好きな「川ガキ」から、将来の川づくりを担うことのできる「川ガキ団」に。世代を超えて川の応援団を作ることがミッションだと思っています。令和5年度の「木津川川ガキ団」の募集を始めます。



[Column]
河川レンジャーとグリーンインフラ
Green Infra
木津川川ガキ団

(写真説明)
①子どもも大人も夢中の魚とり
②カワムツ(和束町)
③木津川の豊富な砂で土木工事。町づくり?
④流れる水の中、ダムを作ろうと懸命に工事中
⑤木津川川ガキ団集合!
⑥スジマドシヨウ(八幡市)
⑦婚姻色がきれいなオイカワ(オス)(木津川市)

新 河川レンジャー誕生

River Rangers 2023

4名の河川レンジャーが誕生し、令和5年度より活動をスタートします。どんな活動を展開していくか、ご期待ください。

枚方出張所管内河川レンジャー
岡村 雅広

枚方出張所管内河川レンジャー
櫻井 えり子

桂川出張所管内河川レンジャー
石津 知子

木津川出張所管内河川レンジャー
赤島 涼子